

# 当院の感染対策について

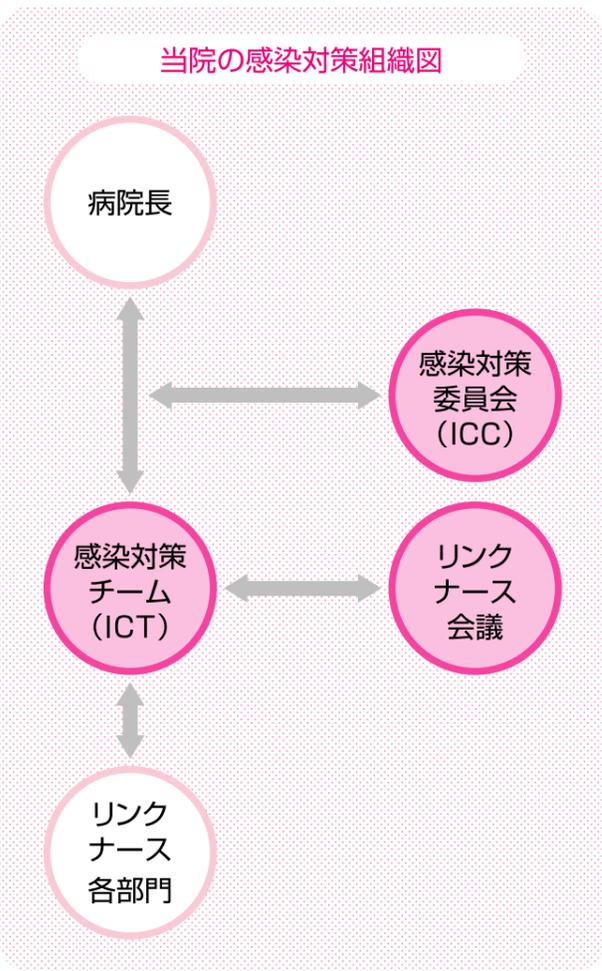
「感染」とは、病原体が体内に侵入すること。特に、そのために種々の病態が起る(感染)。 「感染症」とは、病原体が体内に侵入・増殖して引き起こす病気のこと。(大辞泉より) 当院での病院感染対策は、根拠のある感染対策を基本とし、感染対策の必要性、重要性を全職員に周知徹底して行います。また、発生する種々の感染予防と対策を積極的に組織で取り組んでいます。



↑感染対策チームメンバー



↑リンクナースメンバー



## 当院の組織について

● 感染対策委員会  
(ICC: Infection Control Committee)

《目的》  
院内感染の現状を系統的に把握し、種々の感染対策の方針を決定します。

### 《メンバー》

病院長、副院長、事務部、看護部、医療技術部、薬剤部、外科系医師、内科系医師の代表者及び、感染管理責任者(医師)、感染管理責任者(看護師)により構成されています。

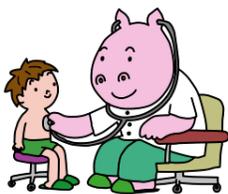


● 感染対策チーム  
(ICT: Infection Control Team)

《目的》  
感染対策委員会と連携をとり、院内感染の現状把握に努め、感染対策の実施に関する権限を持ち、組織横断的な活動を行います。

### 《メンバー》

感染管理責任者(医師)、臨床検査科代表、薬剤部代表、看護部代表、事務部代表、外科系医師代表、内科系医師代表、医療栄養科代表、診療放射線技術代表、感染管理担当看護師により構成されています。



### ● リンクナース

《目的》  
所属部署における感染対策担当者として、感染対策チームと連携を図り、院内感染防止活動を推進します。

### 《メンバー》

看護部(看護単位)の代表として各部署から1名選出され、現在21名のリンクナースが活動しています。



## 私たちが感染対策委員です



感染対策組織に関わるスタッフは、『院内感染対策委員』のバッジをつけています。



↑感染対策チーム会議風景 1回/月開催



↑リンクナース会議風景 1回/月開催

## 院内研修について

院内研修のひとつをご紹介します。

### 感染対策の基本は

**手洗いです！**

スタッフに自分自身の手洗いの癖を知ってもらうため、トレーニング器材を使用して手洗い教育を行っています。



蛍光塗料を塗って  
器械の中に入ると・・・



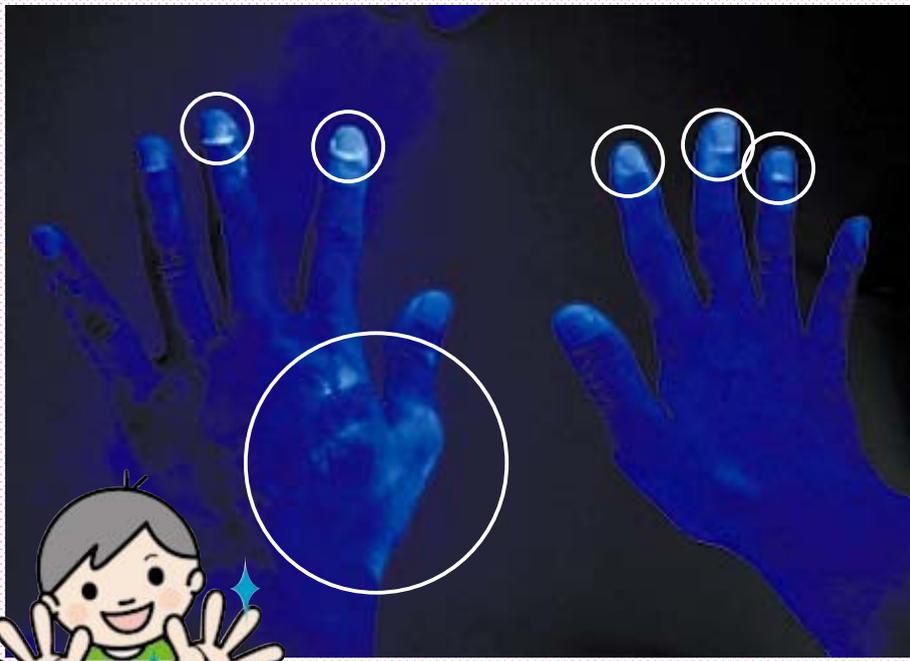
ちなみに…  
ブラックライトを当てないと  
何も見えません。



蛍光塗料塗布後にブラック  
ライトを当ててみるとこんな  
感じになります。(手洗い前)

### トレーニング方法

蛍光塗料を手にまんべんなく塗り、手を洗います。その後、トレーニング器材の中に手を入れると、ブラックライトにより、洗い残しの部分が明るく蛍光を発し、浮き上がります。



白く光っている部分が洗い残しの部分です。  
洗い残しがある場合は、再度きれいになるまで手を洗います。



# 『咳エチケット』を 「ご存じですか？」

厚生労働省が平成20年度インフルエンザ総合対策として『あ、その咳、そのくしゃみく咳エチケットしてありますか?』という標語を掲げ、昨年より提唱している感染予防策のひとつです。他の人への感染拡大の防止のため、「咳エチケット」をキーワードとした普及啓発活動を行い、マスクの着用や人混みにおいて咳をする際の注意点について呼びかけています。



↑厚生労働省発行のポスター

## エチケット1



咳やくしゃみをするときは、ティッシュで口と鼻をおおい、他の人から顔をそらしましょう。

咳やくしゃみが出たら、他の人に出さないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

## エチケット2



使用したティッシュは、すぐゴミ箱に捨てましょう。

鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。

## エチケット3

咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。



咳がでるときは、マスクを着用しましょう。咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

※咳エチケット用のマスクは、薬局やコンビニエンスストア等で市販されている不織布(ふしよ)製マスクの使用が推奨されます。N95マスク等のより密閉性の高いマスクは適していません。

※一方、マスクを着用しているからといって、ウイルスの吸入を完全に予防できるわけではありません。

※マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。(厚生労働省HP参考)

# 当院での 「咳エチケット」への取り組み

●院内放送の実施  
●ポスター作成



↑院内に掲示してあるポスター

以上のように今般では、当院の感染対策の取り組みについて紹介させて頂きました。

感染対策には、様々な方法がありますが、今回は皆さんの日常生活の中で馴染みのある「手洗い」等を代表事例として取り上げてみました。基本的なことではありますが、それが必要な場面でも、かつ適切な方法で確実に実践していくことが感染防止に繋がります。

今後も、現状に満足することなく、より良い感染対策体制を構築していきたいと考えています。

